

株式会社 田中建設 環境行動計画

平成20年2月20日

取 組 方 針

株式会社 田中建設は、『捨てればゴミ、リサイクルすれば貴重な資源』をモットーに、建設発生土や建設汚泥の土を顧客ニーズにあった改良土や防草土などの再生土を製造・販売しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、建設業という事業活動が環境に及ぼす影響を理解し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、環境保全活動に継続的に取り組み、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源
(紙使用量の節減・節水・燃料類の節減)
- ② 工事部門、製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 危険物の安全な取扱
- ④ 5 S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年2月20日

株式会社 田中建設

代表取締役社長 田中 均

3 環境負荷の低減目標及び環境保全に向けた具体的な取組

平成21年度の環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成18年度です。）

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する

基準年の総排出量(売上当り)	⇒	目標年の総排出量(売上当り)
1,737 (kg-CO2/百万円)		1,703 (kg-CO2/百万円)

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(工事部門での活動)

- ・ 車両及び重機の点検整備の徹底を図る
- ・ 現場への車両の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

(製造部門での活動)

- ・ 車両及び重機の点検整備の徹底を図る
- ・ 昼休みと休憩時間には、使用していない機械の電源を切る
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時28度、暖房時20度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する

【目標2】 産業廃棄物の排出量を2%削減する

基準年の排出量(売上当り)	⇒	目標年の排出量(売上当り)
3.89 (トン/百万円)		3.82 (トン/百万円)

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品の発生状況を記録する
- ・ ウェス、軍手は無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【目標3】 コピー用紙の使用量を2%削減する

基準年の使用量(売上当り)	⇒	目標年の使用量(売上当り)
0.83 (kg/百万円)		0.81 (kg/百万円)

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【目標4】 水使用量を2%削減する

基準年の使用量(売上当り)	⇒	目標年の使用量(売上当り)
0.77 (m3/百万円)		0.75 (m3/百万円)

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車場の水を循環して使用する

【目標5】 危険物の安全管理を徹底する

【取組5】 危険物の安全管理

- ・ 危険物は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物の容器は、確実に蓋をする
- ・ 危険物を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

【取組6】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

4 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。